

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回茨木市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和6年6月21日（金） （午前・ <u>午後</u> ） 2時00分 開会 （午前・ <u>午後</u> ） 3時30分 閉会
開 催 場 所	茨木市役所 南館8階 中会議室
議 長	小幡 範雄（立命館大学名誉教授）
出 席 者	◎小幡 範雄（立命館大学名誉教授）、○金子 泰純（元和歌山大学システム工学部教授）、川口 美加（茨木商工会議所 女性会副会長）、東浦 憲次（茨木市自治会連合会 監査）、松下 明子（茨木市消費者協会 衣部会長）、林 雅敏（株式会社ユニオンコーヒーロースターズ工場長）、小田原 朋美（イオンモール（株）イオンモール茨木 オペレーションマネージャー）、抱 達哉（廃棄物減量等推進員）、山岸悦子（廃棄物減量等推進員）、橋本 拓実（アサヒ興産（株） 専務）、和田 美穂（公募市民）、村上 誠（公募市民）【12人】 ◎会長、○副会長
欠 席 者	【0人】
事 務 局 職 員	下菌産業環境部長、村上資源循環課長兼連携調整係長、前原資源循環課参事兼計画係長、九鬼環境事業課長兼業務係長、井澤環境衛生センター所長、川寄環境事業課管理係長、西谷資源循環課主査、瀧田資源循環課職員【8人】
開 催 形 態	公開
議 題（案件）	(1) 案件1 本市のごみ排出量・資源物量の推移について (2) 案件2 令和5年度ごみ減量施策及び令和6年度一般廃棄物処理実施計画について (3) 案件3 一般廃棄物処理基本計画の見直しについて
配 布 資 料	(1) 【資料1】 本市のごみ排出量・資源物量の推移について (2) 【資料2-1】 令和5年度一般廃棄物処理実施計画に示した取組項目の実施状況 (3) 【資料2-2】 令和5年度茨木市一般廃棄物処理実施計画 (4) 【資料2-3】 令和6年度茨木市一般廃棄物処理実施計画 (5) 【資料3】 次期一般廃棄物処理基本計画の策定（見直し）について

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 令和5年度第1回会議で決定したとおり、会議は公開としている。 今回、傍聴者はいない。
	2 市職員の紹介
	3 産業環境部長挨拶
事務局	これからの議事は、会長に議長を務めていただく。
	4 会議の成立・議事の公開
議 長	まずは委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。
事務局	会議については、審議会規則第3条第2項の規定により、委員総数の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないとされている。本日の出席者数は総数12名のうち12名で全員出席である。
議 長	ただ今事務局から報告のあったとおり、過半数の出席であるため、会議は有効に成立している。 それでは、会議次第に沿って議事を進める。 案件1と案件2は密接に関連しているので、続けて報告いただく。
	5 案件1 本市のごみ排出量・資源物量の推移について
事務局	【案件1「本市のごみ排出量・資源物量の推移について」の資料説明】
	6 案件2 令和5年度ごみ減量施策及び令和6年度一般廃棄物処理実施計画について
事務局	【案件2「令和5年度ごみ減量施策及び令和6年度一般廃棄物処理実施計画について」の資料説明】

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議 長	案件 1・2 について何か質問・意見等はあるか。
A 委員	資料 1「本市のごみ排出量・資源物量の推移について」の 3 ページ中、令和 6 年度の最終処分量について、本市＋摂津市は、6,065t/年で前年度比が 14.7%増加、本市のみは、4,813 t/年で前年度比が 11.7%減少しており、令和 5 年度より摂津市のごみの広域処理を開始したとの記載があるが、摂津市の最終処分量をどのように算出しているのか。また、今後の最終処分量の見通しはどうなっているのか。今後、本市と摂津市の解離が大きくなっていくなら問題ではないか。
事務局	令和 5 年度の最終処分量について、摂津市のごみは全体の 20%であり、摂津市の最終処分量については、ごみ量の割合で按分して算出している。また、今後も摂津市のごみを受け入れていくことから、摂津市のごみの割合が、過去の 1.6%～2.3%に戻ることはないため、本市と摂津市のごみ量の解離は継続していくと考えられる。
B 委員	資料 2-1「令和 5 年度一般廃棄物処理実施計画に示した取組項目の実施状況」中、インクカートリッジと使用済み紙おむつの回収の検討について記載があるが、進捗はどうなっているか。実際に私の家では、大人用、こども用ともに紙おむつを多く排出しているので関心がある。
事務局	インクカートリッジについては、今年度の秋くらいから回収を開始したいと考えている。オンラインでの購入が増えていることで、家電量販店のボックスを利用せずに、ごみとして捨てられることが多くなっている。ごみの全体の量には大きく影響しないが、すでに実施しているコンタクトレンズの回収ボックスと同様に、幅を広げていき、ごみ減量の意識を高めたい。 紙おむつの再利用は、国も力を入れている事業であるが、本市としては実施が厳しい状況である。再資源化には、水平リサイクルやペレット化などがある。ペレット化は、地方では、ボイラーなどに利用していることもある。しかし、本市庁舎をはじめとして、ボイラーはガスで動かしているものがほとんどで、ペレットの使い道がない。また、中間処理施設も少ない。こういった状況から、実施が難しい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
C 委員	資料 1「本市のごみ排出量・資源物量の推移について」の 2 ページに直接搬入とあるが、他の資料では、自己搬入と表記されている。これは相違があるか。もしなければ、統一したほうがよい
事務局	基本計画には自己搬入とあるため、この表記に統一する。
C 委員	部長あいさつの中で、リユースの取組があったが。実施計画資料にはそれらの取組が出てきていない。
事務局	資料 2-2「令和 5 年度茨木市一般廃棄物処理実施計画」の 8 ページの基本施策 1「啓発・指導の強化について」にジモティーとおいくらの記載がある。令和 5 年 4 月からセンターへの処分量を値上げしたが、ジモティーやおいくらを利用して、捨てるのではなく、リユースにまわすことでお金をかけずに処分できる。どちらも、オンラインで品物を掲載して、売買や譲渡する点は共通している。相違点は、ジモティーは個人間で取引する一方、おいくらはリユースショップとの取引である。また、おいくらは、自宅まで、品物を取りに来るサービスもある。実績としては、ジモティーの市内の投稿数は 16,000、市ホームページからのジモティーのサイトへの流入数は 3,700 である。おいくらの市ホームページ経由の依頼は約 300、商品数は 1000 程度である。ごみ量全体への大きな影響はないが、着実に取り組んでごみ減量の意識を高めたい。また、おにくるで実施されているこども服などのリユースイベントに、ぐるり交換会とかえっこバザールくるくるがある。市民が安心して参加できるように、ごみ分別アプリでイベントの案内をしている。これらのイベントでこども服の在庫が捌けない分はジモティーなどの利用を勧めることなども視野に入れて、リユースの利用促進に努めている
C 委員	マーケットインタープライズとは何か。
事務局	おいくらを運営している会社である。
C 委員	摂津市のごみ減量計画はどうなっているのか。将来の見通しとして茨木市と摂津市のごみ量の割合が 8：2 くらいで継続するのであれ

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ば、摂津市分が減れば、全体の処分量も減るのではないか。仮に摂津市がごみ量を大幅に減らす計画を立てているのであれば、茨木市も負けずにそうする必要がある。逆に摂津市が茨木市と比べてごみの減量に取り組んでいないなら、ごみ量を減らすように求めてもよいのではないか。どちらのほうが高い目標を立てているのか。
事務局	摂津市のごみ減量計画についての比較は行っていないが、分別品目に関して摂津市は、茨木市では行っていないプラ容器包装の食品白トレ回収をしている。なお、ごみ量の現状として一日に出る一人当たりの家庭系ごみ量は、北摂7市中、豊中に続いて、本市は2番目に少ない。
議 長	摂津市とは日頃から調整されていると思うが、摂津市の簡単な状況は報告できるように努めてほしい。
事務局	了承。
	7 案件3 一般廃棄物処理基本計画の見直しについて 【案件3「一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」の資料説明】
議 長	アンケートはいつ実施予定か。
事務局	10月に実施し、2月に成果物について報告する予定である。今後、委託事業者とのすり合わせで変動する可能性はある。
議 長	審議会はいつ実施予定か。
事務局	2回目を10月、3回目を2月に予定している。3回目ではとりまとめ報告書が出来上がってくるので、その説明を行う予定である。
議 長	次の審議会ではアンケート案は決まっているか。
事務局	決まっている予定だが、郵送またはメールでアンケートの内容を委員へ事前に送付したいと考えている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議 長	今回の審議会で、アンケート項目については、重点的に意見を求めたほうがよいか。
事務局	製品プラについて、市民に聞きたいと考えている。アンケートの質問項目は 20 程度で、それ以上だと答えるのが大変になり、回答が返ってきにくいと事業者のヒアリングでわかっている。今年のアンケートで入れてほしい、または外した方がよい項目はあるか。
議 長	アンケートは項目だけでなく、実物があれば意見が出やすいが、あるか。
事務局	令和 3 年度のアンケートを配布する。しかし、業者のほうから提案を反映したものをご提示したほうが、意見をいただきやすいと思われるので、後日送付させていただく。
事務局	アンケートの肝と考えている廃プラについての考えについて意見してほしい。容器包装については、人員の増加やベール化設備を要するためなどから分別収集を見送ってきたと思われるが、次期ごみ処理施設を 2041 年に予定しているため、国からの補助を受けるためには、廃プラスチックの分別収集が必要と考えている。容器包装については以前からスーパーなどが実施していることから、市は、民間が行っていない品目を重点に検討する必要があると考えている。なお、本市は、製品プラスチックの回収品目を 100%のプラ製品、プラマークの記載製品など市民にとってわかりやすいものから始めていきたい。また、市民には、二酸化炭素の削減効果やどのような製品にリサイクルされるのかなども伝えていきたい。
議 長	プラスチックについて入れたい旨は理解した。
C 委員	アンケートについては、計画を立てるための意見をだしてもらう必要がある。たとえば、先ほどの紙おむつについての意見は、大人用はこども用を超えてきており、高齢化もあり、当然、需要があるので、市民の声として重要である。しかし、アンケートで、市の方針を出さずに、質問を投げかけるだけでは、バラバラの答えしか返ってこず、アンケートをしたというアリバイ作りにしかならない。アンケートで

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
C 委員	は、市の考えを提示したうえで質問するべきと考える。 また、中間処理施設について、問題があるといっていたが、スペースがないのか、建設費が出せないのか、市で作る気はないが、民間の処理業者がいらないのか。具体的な説明がないと、市民にはわからない。 卵パックは素材が均一でないものも混じっている。コープ等でリサイクルを実施できているのは、素材がわかっているためである。単に市が卵パックの回収をしたほうがよいかときくと、詳しいことを知らない市民は、回収したほうがよいとしかならない。市として、拠点を作りたいとか、リサイクルに回したいということであれば、方針を立てたうえで質問しないとイケない。 次の計画は 2035 年までを見通した計画なら、ごみ処理委施設の建て替えを含めた計画になる。ほかにも、2030 年、温室効果ガスの削減目標はどうなっているのか。上位計画を整理し、その枠組みを明示する必要がある。また、令和 3 年度では有料化のことも聞いたみたいだが、単に聞いてもダメ。製品プラの回収をしている市町村はあるが、1t あたり 6 万円程度の費用がかかる。そこまでの費用をかけて、地球温暖化防止のために、ぜひやりたいが、有料化も同時に実施したいなど、ストーリーを考えるべきである。審議会で聞くならもっと個別の具体的なことについて聞いたほうがよい。
議 長	資料 3 の計画の位置づけについて、総合計画や環境計画などの上位計画がある。国が出している廃棄物以外の計画もある。整理してこの位置づけを明確にするように。市としてはこうしたい、丸投げだけはやめてくれという意図の意見だったと思う。ぜひアンケートに入れたものがあれば、ストーリー付けは事務局がするので、何か意見はあるか。
A 委員	市内に大きいスーパーができてきている。薄利多売で営業しており、値引きでも売っていると思うが、ロスもでてしまっていると思う。事業者も含めて検討してほしい。
議 長	また何かあれば、事務局に伝えてください。
C 委員	市民意向だけしかない。家庭系ごみは減量できているが、事業系ご

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（ 案 件 ） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	みが課題ではないか。事前の調査は企画されていないようで、事業者の意向は難しい面もあるが、重要ではないか。また、人口減少など将来動向も捉えていく必要もある。ごみ処理施設も今より小さい規模で作ることになると思われる。
議 長	事業系のアンケートは実施するのか。
事務局	アンケートはしないが、食品ロスを含めた組成調査はする。大型の事業者に対し、事業所を訪問し、ごみ減量の何が難しいか報告を求めているので、アンケートは不要との考えである。
議 長	事業系ごみについて、何か大幅に減量する計画はあるか。
事務局	起爆剤となるものは現時点ではない。
	9 その他
議長	事務局から他に何かあるか。
	【各委員への連絡事項の伝達】
事務局	本日の審議会はこれで終了とする。
	10 閉会